David Cassidy

キャシディはもうふり返らない…

青春という名の迷宮の館を通りすぎた時、
デビッドはティーンのアイドルから
アメリカン・ポップのヒーローへと変身した。

曲目：
- ●ぼくは燃えている
- ●これが恋でなかったら
- ●ファミリアー
- ●トゥモロー
- ●青春は悲しみ
- ●グッバイ・ブルース
- ●ベッドタイム　他全10曲

プロデュース：デビッド・キャシディ
& ブルース・ジョンストン

青春の館／デビッド・キャシディ

■RVP-6036　¥2500　（4月25日発売）

新鮮でハイセンスなアメリカン・ポップの結晶!!
いとしのデビッドのひたむきな熱唱!!

■レコーディングはハリウッドのRCAスタジオで'75年の9月から11月にかけて行なわれました。ミュージシャンは気心の知れた友人ばかり。彼らに囲まれて、デビッドは心ゆくまで時間をかけて制作しました。終始デビッドが、元ビーチ・ボーイズのブルース・ジョンストンと相談し合い、細部から積み重ねていった綿密なサウンド。いたるところに洗練されたアメリカン・ポップのセンスが光っています。

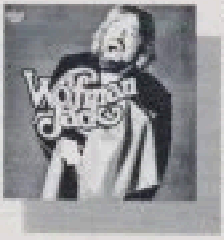
■デビッドと多くの曲を共作し、リード・ギターも担当しているのは、注目の新進ギタリスト／ソング・ライター、ビル・ハウス。躍動的な"ジャンピン"・ベースは、ジョー・ウォルシュのソロ活動に参加していたブライアン・ガロファロ。そしてドラムスは、「オランダ」に至る多くの名盤を生み出した時代のビーチ・ボーイズのリッキー・ファター。ほかは主にビル・ハウスの仲間たちです。

■デビッドの甘いハスキー・ヴォイスは今や自信に溢れ、ソウルフルにシャウトしたり、優しく歌いかけたり、堂々と表情豊かに熱唱。アイドルの虚像をかなぐり捨て、真のミュージシャンを目ざすデビッドのひたむきな情熱が感じられるのです。

噂のウルフマン・ジャック

■RVP-6046　¥2500　（4月25日発売）

曲目：スイート・キャロライン／老人の夢／スピニング・ホール／ヘイ・ウルフマン／ネバー・シーン・ア・ホワイト・マン／ギャロップ／イーブル・ウーマン／ぼくは君のもの　他全10曲



全米トップDJの狼男
遂にレコード・ジャックか!?

1958年、アメリカのラジオ界に忽然と現われ、ロック番組のDJとして最高の人気者となったウルフマン・ジャック。映画やTVに最近正体（?）を現わしはじめた彼が、本格的に歌にとりくんだ最初のLP。

RCA Records and Tapes

発売元：RVC株式会社